

今日のお昼に新宿にて物資を積み込み、
4tトラック1台、ハイエース1台、乗用車2台の計4台で東北に向けて出発しました。

物資内容は、
米、飲料水、マットレス、布団、枕、
カップラーメン、電池、充電器 など

4tトラックとハイエース後部満載分。
この時点で
放射能は0.15マイクロシーベルト。



15時頃に茨城県水戸市大洗に到着。
物資を半分おろす。

町中では40cm浸水した。

ひび割れや浸水多数。

市の職員さんが手伝ってくれた。

電気は通っている。

町長さんが「ありがとう」と言って

コーヒーを出してくれた。

町のボランティアの人と、市の職員の人が、がんばって作業をしていた。



そのまま車で10分北へ。

大津港につく。

6m近くまで浸水した後があった。

窓は割れ、家の1階はぼろぼろ。

路上にはまだゴミが散乱。

道路両脇には

壊れた家財が積まれている。

船が何台も乗り上がっている。

車はほぼ使えない。

ぼこぼこでひっくり返っている。何件も家がつぶれている。町に人はまばら。



放射能測定器のおかげで安全が確認できたので、そのまま北上することに決定。

福島県いわき市に入る。進行中に計った放射能は1.02マイクロシーベルト。

そのまま北上。町が暗い。

電気は通っているが、

人がいないせいかまばら。

いわき平競輪に入る。

自衛隊が駐屯している。

物資が山積み。

市の職員が簡易的なマスクを

しながら作業している。

議員さんが言うには、

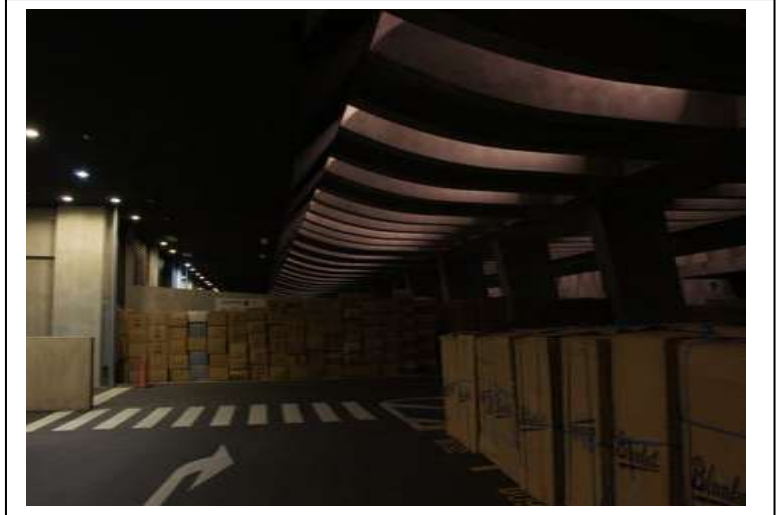
ガソリン・資材・米が足りないらしい。

それと「危険だ」という噂が広がりすぎて物資が届かないとのこと。

悪いイメージによってトラックの運転手が逃げてしまった。だから物資が入ってこない。

ここでの放射能は0.4マイクロシーベルト。

ちなみに、専門家によればこれは全く健康に害の無い数字。



以上が、自分の目で見、耳で聞いたこと。

以下、自分で感じたこと。

東京で感じる空気と現地の空気があまりにも違う。

そして、これが大きい。東京やそれ以外の都市にいる人たちがしようとしていることと、

現地の人たちが求めていることが、あまりにも、違う。これはイベントじゃない。

ヒーロー気取りをする場所でもない。

何が重要なのかは、まだわからない。もう少し、考える。

大事なことは、現地の人が必要なものを、必要な場所に、必要な量を送ること。

現地の人には、自分たちの力で、なんとか復興させようとしている。それを強く感じた。

そこにいるのは、まぎれもなく、オレたちと同じ、現実の人間です。

自己中心的な考え方で、それを邪魔してはいけない。

現地の声が一番大事だ。求められたことに、答えることが、大事だ。

青年東北支援隊は、現地の声を大切に、でしゃばらず、分際にあった最大限の支援をこれからも続けるよう、心を引き締めます。

大切なのは、忘れないこと。小さくても、何かをし続けること。

そして、自分の大切なものを、大切に続けること。

1日考える時間をください。また新たな方針を出します。

僕らを応援してくれている方々、本当にありがとうございます。ありがとうございます。

心を常に、東北に。

これからも応援を、よろしくお願い致します。